

平成18年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	2,731	2,731	0	
施設整備費補助金	0	0	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	19	0	△19	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	15	15	0	
自己収入	271	281	10	
授業料、入学料及び検定料収入	130	135	5	(注2)
附属病院収入	105	105	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	36	41	5	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	18	53	35	(注4)
長期借入金	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	3,054	3,080	26	
支出				
業務費	2,282	2,243	△39	(注5)
教育研究経費	2,186	2,167	△19	
診療経費	96	76	△20	
一般管理費	711	743	32	(注6)
施設整備費	15	15	0	
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	19	0	△19	(注7)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	18	43	25	(注8)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	9	9	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	3,054	3,053	△1	
収入－支出	0	27	27	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、当初は補助金扱いと考えていた助成金の区分を寄附金扱いに変更したため、決算額が0百万円となっています。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として入学者数が定員を上回ったこと、前年度卒業者が予定より少なかったこと等により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。
- (注3) 雑収入については、主として予定していなかった科学研究費補助金の間接経費が措置されたこと等により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。
- (注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として受託研究等契約の獲得に努めたこと、(注1)に示した理由等により、予算額に比して決算額が35百万円多額となっています。
- (注5) 業務費については、教育研究経費、診療経費において経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が39百万円少額となっています。
- (注6) 一般管理費については、主として(注3)に示した間接経費が措置されたこと、退職手当支給額が見込みより多額となったこと等により、予算額に比して決算額が32百万円多額となっています。
- (注7) 補助金等については、(注1)に示した理由により、決算額が0百万円となっています。
- (注8) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。